

近代大阪の日本画を集めた、史上初の大規模展

## 「開館1周年記念特別展 大阪の日本画」新情報のお知らせ

会期：2023年1月21日（土）～4月2日（日）【会期63日間】

会場：大阪中之島美術館（大阪市北区中之島4丁目3-1）

大阪中之島美術館（所在地：大阪市北区/館長：菅谷 富夫）は、近代大阪の日本画が一堂に会する史上初の大規模展「開館1周年記念特別展 大阪の日本画」を、2023年1月21日（土）～4月2日（日）の期間、開催いたします。

つきましては、本展の新情報として、2022年9月末に発表した展覧会概要に続き、注目作品のご紹介や、12月1日（木）より発売開始となる【2枚セット券】の情報をお知らせいたします。

### 新情報① まだまだあります！注目作品のご紹介

個性豊かな作家たちの作品や、大阪の祭り、伝統芸能、歴史を描いた作品など、注目の“大阪の日本画”をご紹介します。



中村貞以「猫」(部分)

昭和23年（1948）

東京都現代美術館【後期展示】



北野恒富「淀君」

大正9年（1920）頃

大阪中之島美術館

【後期展示】



生田花朝「だいがく」

昭和時代

大阪府立中之島図書館

【前期展示】



山口草平「人形の楽屋」(右隻)

大正後期～昭和初期

大阪中之島美術館【前期展示】

### 新情報② 企画チケット【2枚セット券】など、12月1日（木）発売開始

本展は、前期と後期で約7割の作品を展示替えします。そのため、通常の前売券の他に、前期・後期をお得に楽しめるチケット【2枚セット券】をご用意しました（お二人での1回観賞での利用可）。

#### 《報道関係者お問い合わせ先》

「大阪の日本画」広報事務局（TMオフィス内）馬場・西坂・永井

TEL：06-6231-4426 FAX：06-6231-4440 E-MAIL：[nihonga@tm-office.co.jp](mailto:nihonga@tm-office.co.jp)

大阪中之島美術館 WEBサイト

URL <https://nakka-art.jp/>



◀アクセス  
QRコード

## 新情報① まだまだあります！注目作品のご紹介

「開館1周年記念特別展 大阪の日本画」は、明治から昭和に至る近代大阪の日本画に光をあて、50名を超える画家による約150点の作品を展示します。

早くも話題を集めている本展。2022年9月末に発表した作品の情報に続き、第2弾となる注目作品をご紹介します。

◆前期展示：2023年1月21日（土）～2月26日（日） 後期展示：2月28日（火）～4月2日（日）

祭り、芸能、歴史…描かれた大阪の文化が大集合！



きたのつねとみ  
北野恒富「淀君」大正9年（1920）頃  
大阪中之島美術館 【後期展示】

ご存知、豊臣秀吉の側室である淀君が、醍醐の花見にのぞむ凜とした姿を描いた作品。



いくたかちょう  
生田花朝「だいがく」昭和時代  
大阪府立中之島図書館 【前期展示】

西成・生根（いくね）神社の伝統的な雨乞い祭り。



やまぐちそうへい

山口草平「人形の楽屋」大正後期～昭和初期 大阪中之島美術館 【前期展示】

大阪の伝統芸能・文楽の舞台裏を描いた、珍しくて奇抜な作品。



きたにちぐさ

木谷千種「芳澤あやめ」大正7年（1918）  
個人蔵（大阪中之島美術館寄託）【前期展示】

北野恒富に学んだ女性画家。江戸時代の大坂で活躍した  
女形歌舞伎役者を描いた作品。



すがたてひこ

菅楯彦「浪速堀江市之側之図」昭和10年（1935）頃  
鳥取県立博物館 【後期展示】

今も人気の街である「堀江」のかつての賑わいを描いた作品。



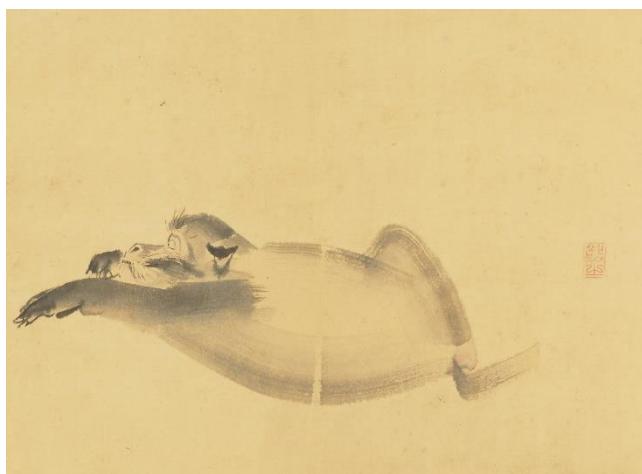
なかむらていい  
中村貞以「猫」  
昭和23年（1948）  
東京都現代美術館【後期展示】

北野恒富門下の出世頭・中村 貞以。  
本作は、戦後に描いた透明感あふれる優品。



みつゆちすず  
三露千鈴「秋の一日」大正15年（1926）  
大阪中之島美術館【後期展示】

画の道に生きた夭折の女性画家。  
応援してくれる母への感謝を描いたといわれる作品



もりいっぽう  
森一鳳「猿」（「画帖十二図」のうち）  
幕末～明治初期  
大阪中之島美術館【通期：場面替えあり】

全12図、アルバム状の作品。この図は、猿がジャンプする瞬間を、大胆な筆使いでユーモラスに表現。



こばやしかはく  
小林柯白「道頓堀の夜」大正10年（1921）  
大阪中之島美術館 【通期展示】

芝居でにぎわう道頓堀の静かな背中。



たゆいのしようせんり  
田結莊千里「松樹双禽図」明治12年（1879）  
大阪中之島美術館 【前期展示】

画面上部、執拗に描き込まれた松葉に注目。



なかがわわどう

中川和堂ほか「夏相撲の力士」（「鐘美幀」のうち）大正5年（1916）

大阪中之島美術館 【通期：場面替えあり】

全40図。親しみがこぼれる“風物詩の玉手箱”。



くぼいすいとう

久保井翠桐「熱国繪卷」（部分）大正前期頃 個人蔵 【通期：場面替えあり】

異国を取材して描き上げた新しい時代の「絵巻」。

## 新情報②企画チケット【2枚セット券】など、12月1日（木）発売開始

本展は、**前期と後期で約7割の作品を展示替え**します。そのため、通常の前売券の他に、前期・後期をお得に楽しめるチケット【2枚セット券】をご用意しました（お二人での1回観賞での利用も可）。

### ▼前売券

〔価格〕一般1,500円、高大生800円（当日券は、一般1,700円、高大生1,000円 すべて税込み）

〔販売場所〕大阪中之島美術館 公式ホームページ <https://nakka-art.jp/>、ローソンチケット、ローソンおよびミニストップ各店舗（Lコード：56269）

〔発売期間〕：2022年12月1日（木）～2023年1月20日（金）

### ▼2枚セット券

本展を会期中、2回観賞できるチケットです。お一人で前期と後期を1回ずつ観賞したり、お2人（ペア）で1回観賞するなど、ご自由にお使いください。

〔価格〕2,800円（税込み）※高大生の「2枚セット券」は販売しません。

〔販売場所〕ローソンチケット、ローソンおよびミニストップ各店舗（Lコード：56269）

〔発売期間〕：2022年12月1日（木）～2023年1月20日（金）

# 「開館1周年記念特別展 大阪の日本画」展覧会概要

<b>展覧会名</b>	開館1周年記念特別展 大阪の日本画 Japanese Paintings of Modern Osaka
<b>会期</b>	2023年1月21日（土）～4月2日（日） [会期63日間] 前期：1月21日（土）～2月26日（日） 後期：2月28日（火）～4月2日（日） ※会期中、展示替えがあります。
<b>休館日</b>	月曜日（ただし3月20日は開館）
<b>開場時間</b>	10時～17時（入場は16時30分まで）
<b>観覧料</b>	一般 1,700円（前売・団体1,500円） 高大生1,000円（前売・団体 800円） ●中学生以下無料 ●税込み価格。団体は20名以上 ●障がい者手帳などをお持ちの方（介護者1名を含む）は当日料金の半額（要証明）。 ご来館当日、2階のチケットカウンターにてお申し出ください ●一般以外の料金でご利用される方は証明できるものを当日ご提示ください ●本展は、大阪市内在住の65歳以上の方も一般料金が必要です ●前売券は2022年12月1日～2023年1月20日まで販売
<b>会場</b>	大阪中之島美術館（〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-1） 電話：06-4301-7285（大阪市総合コールセンター・年中無休 8時～21時）
<b>公式サイト</b>	<a href="https://nakka-art.jp">https://nakka-art.jp</a>
<b>主催</b>	大阪中之島美術館、毎日新聞社、NHK大阪放送局
<b>協賛</b>	孔宮堂、大和ハウス工業、フォーラムkaya新生社
<b>助成</b>	令和4年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業

## 巡回情報【東京会場】

東京ステーションギャラリー 2023年4月15日（土）～6月11日（日）

東京会場は、開催概要や出品作品が変更になる可能性があります。

## 《報道関係者お問い合わせ先》

「大阪の日本画」広報事務局（TMオフィス内）馬場・西坂・永井

TEL：06-6231-4426 FAX：06-6231-4440 E-MAIL：[nihonga@tm-office.co.jp](mailto:nihonga@tm-office.co.jp)

大阪中之島美術館 WEBサイト

URL <https://nakka-art.jp/>



◀アクセス  
QRコード